

(限 内 部)

0052

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年九月九日(水)
海軍大臣官房

○ 通 牒

兵備三機密第三三三號

昭和十七年九月八日

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

南方甲地域港灣ニ於ケル倉庫及荷役業者進出ニ關スル件通牒

首題ニ關シ別紙ノ通政府ニ於テ決定海軍軍政地域ニ於ケル業者ニ對シテハ本日指令書(寫所要ノ向ニ別途配付ス)交付セラレ候條御了知相成度

尙右委託業者ハ陸海軍用品ハ勿論一般物資對シテモ營業致スモノニ有之候

(別紙)

南方甲地域港灣ニ於ケル倉庫及荷役業者進出ニ關スル件(昭和一七、八、一二決定)

南方甲地域港灣ニ於ケル倉庫及荷役業者ハ暫定的處置トシテ差當リ委託經營ノ爲左記ノ通進出セシム
尙恒久的の運營形態ニ關シテハ近キ將來ニ於テ更ニ協議決定ス

海軍公報 (部内限) 號外

一、馬來方面		記	
港灣名	擔當業者	備	考
昭南	三菱倉庫	臺灣運輸及日東商船組ヲ統合ス	
ト	南洋鐵礦		
ヅン	日本鐵礦業		
ケマ	石原鐵礦業		
エ	飯塚鐵礦		
バ	石原鐵礦業		
彼	三井倉庫		
二、ビルマ方面			
蘭	貢		
	千田商會		
三、フィリッピン方面			
マ	ニ		
	臺灣運輸		

0054

セ	レ	ダ	イ	サン	サン	ル	カラ	バ	サ	マ	ギ	サン	イ	ブ
ガ	バ	ロ	フ	タ	カ	カ	ラン	ラ	マ	リ	ン	ボ	リ	ッ
ス	バ	イ	エ	ク	バ	カ	バ	カ	ー	ン	グ	ア	ガ	ア
ピ	オ	ロ	ル	ル	ン	レ	ヤ	レ	ル	ド	ー	ン	ン	ン
ー	ー	ー	ナ	ー	ン	ン	ン	ン	ル	ケ	ー	ガ	ン	ン
臺	臺	三	三	古	古	石	三	三	三	太	住	ボ	比	比
灣	灣	井	井	河	河	原	菱	菱	井	平	友	ル	島	島
運	運	井	井	河	河	産	産	産	物	洋	商	ネ	木	木
輸	輸	物	物	産	産	業	業	産	産	鑛	會	オ	材	材
		産	産	業	業					業	(舊)	物		
		産	産								ギ	産		
											ン			
											グ			
											ー			
											木			
											材			

海軍公報 (部内限) 號外

三

海軍公報 (部内限) 號外

六、ボルネオ				五、スマトラ		四、ジャバ			
ラ ブ ア ン	ミ リ	ク チ ン	タ ワ オ 及 サ ン ダ カ ン	ス マ ト ラ 全 土	ジ ヤ バ 全 土	ブ ス ア ン ガ	サ ン ホ セ	カ ラ モ ア ン	ボ ー ル
日 産 農 林	日 沙 商 會	日 沙 商 會	タ ワ オ 産 業 及 ボ ル ネ オ 物 産	富 島 組 (上 組 ヲ 統 合 ス)	南 洋 倉 庫 ヲ 主 ト シ 相 馬 商 會 協 力 ス	臺 灣 運 輸	臺 灣 運 輸	○ 組	○ 組

四

七、セレベス		ブルート島	日産農林
マカツサル、メナド		栗林商船	主トシテ海軍軍用品ヲ擔當ス 但シ南洋倉庫ト相互協力スルモノトス
ポマラ		南洋倉庫	主トシテ海軍軍用品以外ヲ擔當ス 但シ栗林商船ト相互協力スルモノトス
住友鑛業		一般	一般
八、モルツカ諸島			
アンボイナ			
栗林商船			
一般			
九、ボルネオ			
サマリシダ		東滿林業	ボルネオ物産
東滿林業		主トシテ自社開發關係物資ヲ擔當ス但シ大和社及ボルネオ物産ト相互協力スルモノトス	主トシテ自社開發關係物資ヲ擔當ス但シ大和社及東滿林業ト相互協力スルモノトス

海軍公報(部内限) 號外

五

ラ バ ウ ル	南 洋 興 發	一〇、ニューギニア		パンジャルマシ	バリックババン	サンクリラン	プ ラ オ	大 和 社	ボルネオ物産	一 般	ボルネオ物産及東滿林業ノ擔當スル主トシテ各社開發關係物資以外一般ヲ擔當ス但シ前各社ト相互協力スルモノトス
		南洋倉庫	野 村 殖 産	南 洋 倉 庫	大 和 社	雪 本 商 店	南 洋 林 業	一 般	一 般	主トシテ自社開發關係物資ヲ擔當ス但シ大和社ト相互協力スルモノトス	
主トシテ自社開發關係物資ヲ擔當ス但シ栗林ト相互協力ス		主トシテ自社開發關係物資ヲ擔當ス但シ南洋倉庫ト相互協力スルモノトス		野村殖産ノ擔當スル主トシテ同社開發關係物資以外一般ヲ擔當ス但シ野村殖産ト相互協力スルモノトス		雪本商店ノ擔當スル主トシテ同社開發關係物資以外一般ヲ擔當ス但シ雪本商店ト相互協力スルモノトス		主トシテ自社開發關係物資ヲ擔當ス但シ大和社ト相互協力スルモノトス		主トシテ自社開發關係物資ヲ擔當ス但シ前各社ト相互協力スルモノトス	

0058

		一一、クリスマス島	
	マノクワリ	南洋興發	一般
	栗林運輸	南洋興發ノ擔當スル主トシテ同社開發關係物資以外一般ヲ擔當ス但シ南洋興發ト相互協力スルモノトス	
		一二、大宮島	
	鯛生産業	一般	
	南洋興發	一般	

右ノ申石油ノ荷役ハ通常陸海軍直營トス

海軍公報 (部内限) 號外

七

海軍公報

(部内限) 第四千九百九十一號

昭和十七年九月十日(木)

海軍大臣官房

○通牒

官房機密第一一四二一號

昭和十七年九月十日

海軍省 副官

關係各廳長殿

航空兵器保管供給所名稱變更ノ件中改正ノ件通知

昭和十六年官房機密第八九九三號首題ノ件通牒中第二海軍航空廠平塚補給工場ノ次ニ左記ヲ追加セラレ候
記

神奈川縣鎌倉郡瀬谷村

第二海軍航空廠瀬谷補給工場

官房第五四六五號

昭和十七年九月十日

海軍省 副官

在京各廳御中

傳染病豫防ニ關スル件通牒
首題ニ關シ左記ノ通定メラレ候

記

一 當分ノ間左ノ地方ニ赴任又ハ出張スル者ハ出發前各下記ノ豫防接種(種痘)ヲ受ケ同豫防接種(種痘)證明書ヲ携行スルコト

支 那 「コレラ」、「ペスト」(北支ノミ)、種痘

滿洲、蒙古 「ペスト」、種痘

臺灣 「コレラ」

海南島 「コレラ」

佛領印度支那、泰、緬甸

「コレラ」、「ペスト」、種痘

蘭領東印度諸島

「ペスト」(ジャワ、スマトラノミ)

二 前項ノ豫防接種(種痘)證明書ハ三月間有効トス

三 海軍省構内部局勤務者ニ對スル豫防接種(種痘)

海軍公報(部内限) 第四千九百九十一號 昭和十七年九月十日

九六九

ハ構内衛生特別委員(醫務局局員)之ヲ行フヲ例トス

追而各豫防接種ハ約一週間ノ間隔ニテ二回行フヲ要ス

昭和十六年官房第二六〇九號傳染預防ニ關スル件通牒ハ廢止セラル

〇 辭 令

海軍省事務囑託

相馬 和三郎
自今報酬月額七拾貳圓ヲ給ス(昭和十六年海軍省)

堀江 禮三郎
貳千四百貳拾圓

岩間 長太郎
千八百貳拾圓

鈴木 源吾
千參百圓

岩田 武夫
千參百圓

第二南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三十一回同)

中央航空研究所研究官 山内 正男
(各通) 同 阪本 辰治郎

横須賀海軍航空隊ニ於ケル教授ヲ囑託ス

(各通)

森下 覺

龜頭 正三郎

佐藤 哲士

武藤 仰一

石川 正義

安藤 次郎

平山 哲太郎

奥村 貞太郎

露無 正志

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上一六回同)

海軍艦政本部業務囑託

小本 江笠

自今報酬年額四千八拾圓ヲ給ス(二七回同)

東京帝國大學助教授 下村 彌太郎

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス(二五回同)

大友 傳吾

第三百三海軍軍需部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三十一回同)

淺井春太郎

函館地方在勤海軍武官府ニ於ケル業務囑託ヲ解キ鉏路在勤海軍武官府ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

並河榮治郎

第三南遣艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

佐藤 清三

(各) 參千六百圓 海軍豫備中尉 佐藤 修

(通) 貳千六百四拾圓 同 佐藤 修

海軍省事務囑託ヲ解キ第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(以上ハ同)

大塚 令三

海南海軍特務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(ハ同)

山本 恒男

第三南遣艦隊ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(ハ同)

(各通) 千參百圓 藤澤 佐一

(各通) 八百四拾圓 澤口 正夫

第一南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官

待遇トス(ハ同)

陸軍大尉 麻生 大三郎

海軍省事務ヲ囑託ス(ハ同)

海軍大尉 荒木 左右

海軍省人事局事務兼第三南遣艦隊事務ヲ囑託ス

石黒 信一

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

海軍省人事局事務兼海南海軍警備府事務囑託

能美 留壽

兼海南海軍警備府事務囑託ヲ解キ兼テ南西方面艦隊事務ヲ囑託ス(以上ハ同)

小西 喜一郎

(各通)

小西 茂

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

東北帝國大學教授 的場 幸雄

同 大日方 一司

(各通)

名古屋帝國大學教授 佐野 幸吉

北海道帝國大學教授 柴田 善一

海軍航空技術廠ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額五百圓ヲ贈與ス

伊志嶺朝良

海軍警備府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

松永四男成

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

從七位 川崎吉武

都筑成吾

岡次郎

從七位 筒井左近

正六位勳五等 米村嘉一郎

從七位勳八等 岩淳三

勳八等 鈴木三郎

眞木正雄

棚谷新二郎

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上九名同)

海軍機關中佐 田中千春

船舶應急處理委員會幹事ヲ命ス

海軍武官任用委員ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫中佐 早川美智雄

海軍軍醫少佐 中森義郎

海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造機學生造兵學生法務學生同候補者並生徒志願者身體檢査委員ヲ命ス

海軍軍醫中佐 種子田庸人

同 早川美智雄

(各通)

海軍軍醫大尉 後藤尙

海軍豫備生徒志願者體格檢査委員ヲ命ス

海軍軍醫中佐 種子田庸人

海軍豫備學生採用試驗委員ヲ命ス(以上九名同)

海軍中將 中村龜三郎

海軍省事務ヲ囑託ス

菊池義郎

(各通)

川尻連夫

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

海軍少將 大島四郎

海軍省事務ヲ囑託ス

從七位 久保田豊

海軍省事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上同)	同	川瀬 信行
第十海軍軍用郵便所長ヲ命ス	通信事務官	竹内 豊治
第三十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス (各通)	通信書記	今泉 信
第三十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上同)	事務員	辻子種一郎 中村瀧一郎
横須賀鎮守府附ヲ免ス	遞信局技手	岩崎 憲三
第四海軍軍用郵便所員ヲ命ス	遞信局書記	松田 好次郎
第八海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上同)	事務員	鈴岡 望富
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス	海軍技術會議議員	海軍少將 市岡 壽
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス(以上同)		

海軍公報(部内報) 第四百九十六號

昭和十七年九月十六日

九九三

第一課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)	海軍少佐 平田 春生
○雜款	
○普通軍事教育圖書	昭和十七年中納庫セル普通軍事教育圖書左ノ如シ (海軍文庫)
圖 書 名	標 記 番 號
昭和十四、五年戰爭各國海戰關係法令第三輯下卷	海軍省教普 第千四百十二號C
武士道全書 第三卷	海軍省教普 第千六百九十五號三
武士道全書 第四卷	海軍省教普 第千六百九十五號四
横須賀、吳、佐世保、舞鶴各軍需部共納庫	備 品
○郵便物發送先	備 品
自今左ニ依リ發送相成度	
司令、隊機關長、軍醫長宛	略
主計長宛	(第七驅逐隊)
○書類發送先	
特設航空母艦春日丸宛書類ハ自今軍艦大鷹ニテ處理可	

0064

海軍公報(部内限) 第四百百九十六號 昭和十七年九月十六日

九九四

致ニ付吳郵便局氣付ニテ送付相成度

(軍 艦 大 應)

○第百一海軍刑務所ノ給與其ノ他ノ經費支拂ハ八月一
日以降第十特別根據地隊主計長ヲシテ之ヲ掌理セシム
(第一南遣艦隊司令長官)

海軍公報 (部内限) 第四千九百九十七號

海軍大臣官房

昭和十七年九月十七日(木)

○令 達

官房機密第一一五一四號
 昭和二年勅令第三百八十一號ニ依リ同十五年九月十六日任用又ハ採用セラレタル海軍軍醫科、藥劑科及技術科士官(海軍武官服役令第八條ノ規定ニ依ル現役ニ服セシメラレタル者ヲ除ク)ハ海軍將校相當官現役期間特例第五條竝ニ海軍武官服役令第三條第一項第一號ニ依リ當分ノ間服役期間ヲ延長ス

昭和十七年九月十五日

海軍大臣

官房第五六〇四號

神奈川縣藤澤市辻堂ニ横須賀海軍軍需部被服裁縫作業所ヲ置キ之ヲ横須賀海軍軍需部辻堂作業所ト呼稱ス
 本令ハ昭和十七年七月二十日ヨリ之ヲ適用ス
 昭和十七年九月十七日

海軍大臣

○通 牒

官房第五六〇五號
 昭和十七年九月十七日
 各 應 長 殿
 海 軍 次 官
 恩給年數勳年加算ノ件通牒
 昭和十七年内閣告示第十一號(以下告示第十一號ト稱ス)ニ依ル加算ノ適用範圍等左ノ通定メラレ候

記

一 告示第十一號第一項及第二項ノ規定ニ依ル職務加

(イ) 算 適用範圍

- 一 左ニ掲グル各號ノ一ニ該當スル者ニシテ告示第十一號第一項又ハ第二項ニ定ムル地域ニ在リテ勤務シタルモノ
- (一) 外戦部隊ニ屬スル艦船部隊ノ勤務員
- (二) 内戦部隊及補給部隊ニ屬スル艦船(特設艦船)

海軍公報(部内限) 第四千九百九十七號 昭和十七年九月十七日

九九五

二

告示第十一號第三項ノ規定ニ依ル戰務加算

- (一) 昭和三十七年四月一日以前ヨリ告示第十一號第一項又ハ第二項ニ定ムル地域ニ在リタルモノハ同日ヲ、又同日以後當該地域以外ノ地域ヲ出發シタルモノハ最終ニ之ヲ出發シタル日ヲ始期トス
- (二) 告示第十一號第一項又ハ第二項ニ定ムル地域ヲ離レ該地域以外ノ地域ニ向ヒタルモノハ之ニ到着シタル日ヲ終期トス

(イ)

- (一) 適用範圍
左ニ掲グル各號ノ一ニ該當スル者ニシテ帝國内(告示第十一號第一項第一號ニ掲グル地域ヲ除ク)ニ在リテ直接防衛ニ關スル勤務ニ從事シタルモノ
外戰部隊ニ屬スル艦船部隊ノ勤務員
内戰部隊及補給部隊ニ屬スル艦船(特設艦船ニ非ザル徵備船舶ヲ含ム)部隊ノ勤務員(兼務者ハ主トシテ當該艦船部隊ニ勤務ノモノニ限ル)但シ學生、練習生、補缺員及之等ニ準ズル者竝ニ部隊勤務ノ文官ヲ除ク
- (二) 徵備船舶又ハ武裝商船ニ派遣セラレタル警戒隊員
- (三) 內戰部隊ニ屬スル部隊勤務ノ文官ニシテ海軍大臣ニ於テ專ラ直接防衛ニ關スル勤務ニ從事シタルモノト認メタルモノ
- (四) 加算ノ始終期
昭和三十七年四月一日以後(イ)號ニ該當シ勤務ニ服シタル期間トス

(ロ)

○内閣告示第十一號
公務員ノ在職年ニ付恩給法第三十二條第一項ノ規定ニ

依リ爲スベキ加算ノ程度、加算ノ認メラルベキ期間及
地域、戦務ノ範圍竝ニ第三十三條第一項ノ規定ニ依リ
加算ヲ爲スベキ擾亂ノ地域及期間左ノ趣勅裁ヲ經タリ
昭和十七年八月十三日

内閣總理大臣 東條 英機

〔從軍加算及擾亂地勤務加算ニ關スル件〕

昭和十七年四月一日以後左記ノ地域ニ在リテ戦闘力構
成ニ參加從軍シタル公務員ニ對シ恩給法第三十二條第
一項ノ規定ニ依リ其ノ期間ノ一月ニ付三月ヲ加算ス

一 南島、南洋諸島及新南群島

二 九龍半島及香港

三 緬甸、泰、馬來半島、蘭領東印度諸島、英領ボル
ネオ、ニューギニア島、ビスマルク諸島、オースト
ラリア、比律賓諸島及ハワイ諸島竝ニ其ノ他ノ太平

洋上及印度洋上ノ島嶼

四 太平洋(帝國ノ第一號ニ掲グル地以外ノ地、滿洲、
支那、佛領印度支那及泰ノ港域ヲ除ク但シ支那ノ内
第二號ニ掲グル地及泰ノ港域ヲ除クハ昭和十七年八
月一日以後ニ限ル)及印度洋

昭和十七年四月一日以後前項第二號ニ掲グル地ヲ除キ
タル支那及佛領印度支那竝ニ其ノ港域ニ、同年八月一

日以後前項第二號ニ掲グル地及泰竝ニ其ノ港域ニ在リ
テ戦闘力構成ニ參加從軍シタル公務員ニ對シ恩給法第
三十二條第一項ノ規定ニ依リ其ノ期間ノ一月ニ付二月
ヲ加算ス

昭和十七年四月一日以後第一項及前項ニ掲グル地域以
外ノ地域ニ在リテ直接防衛ニ關スル勤務ニ從事シタル
公務員ニ對シ恩給法第三十二條第一項ノ規定ニ依リ其
ノ期間ノ一月ニ付一月ヲ加算ス

昭和十七年四月一日以後第一項第二號乃至第四號ニ掲
グル地域ニ在リテ危険ヲ顧ミズ其ノ職務ヲ以テ勤務シ
タル公務員ニ對シ恩給法第三十三條第一項ニ規定スル
外國擾亂地勤務ノ加算ヲ爲ス

第一項第二號ニ掲グル地及泰竝ニ其ノ港域ニ在リテ戦
闘力構成ニ參加從軍シタル公務員ニ對シ恩給法第三十
二條第一項ノ規定ニ依リテ爲ス第一項ノ加算ハ昭和十
七年七月三十一日ヲ以テ其ノ終期トス
前項ニ定ムルモノノ外第一項乃至第四項ノ加算ノ終期
ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

海人機密第一〇二號

昭和十七年九月十七日

海軍公報(部内限) 第四百九十七號

昭和十七年九月十七日

九九七

海軍公報(部内限)第四百九十七號 昭和十七年九月十七日

九九八

海軍省軍務局長
海軍省人事局長

關係廳長殿

恩給年彼勳年加算資料ノ件照會

本年官房第五六〇五號ヲ以テ定メラレタル加算ニ關シ
首題調書ノ資料トシテ必要ニ付別紙様式ノ調書左記ニ
依リ送付(軍務局長及人事局長宛各一通)相成度

記

一 昭和十七年四月一日ヨリ同年九月三十一日ニ至ル
事項ハ十月末日迄ニ(艦船部隊所在地ノ關係上十月
末日迄ニ送付シ能ハザルトキハ成ルベク速ニ)送付
ノコト(艦船ニシテ既ニ除籍又ハ定員ヲ置カレザル
ニ至リタルモノ、徵備船舶ニシテ解備ノモノ、部隊
ニシテ解隊ノモノニ付テハ最終ノ所管鎮守府ニ於テ
作成送付ノコト)

二 昭和十七年九月一日以後加算ノ始終期ト爲ルベキ
事項發生ノトキハ其ノ都度送付ノコト

(別紙添)

海人機密第一〇三號

昭和十七年九月十七日

海軍省人事局長

關係廳長殿

恩給年彼勳年加算ニ關スル件照會

本年官房第五六〇五號ニ依ル加算ニ關シ左記ノ通處理
相成度

追テ昭和十六年十二月八日以後同十七年三月三十一
日ニ至ル間左記第一號ニ該當シ本年官房第二三七九
號ニ依リ加算セラルル者ニ付テモ同様處理ノコトト
了知相成度

記

一 特設艦船ニ非ザル海軍徵備船舶又ハ武裝商船ノ警
戒隊員トシテ派遣セラレタル者ニ付テハ海軍徵備船
(武裝商船)警戒隊員職務加算名簿(別紙第一)ヲ人
事局長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長宛各二通送付ノ
コト

二 特命ニ依リ職務加算率三月又ハ二月ノ地域ニ於テ
直接作戰ニ參加シタル者ニ付テハ勤務調書(別紙第
二)一通人事局長宛送付ノコト

三 内戦部隊ニ屬スル部隊勤務ノ文官ニ付テハ勤務調
書(別紙第三)一通人事局長宛送付ノコト

(別紙三葉添)

(別紙)

(昭和十七年九月十七日海軍公報(部内限))

加算		始		終		期		調		艦		部		隊		名		
加	算	始	終	期	期	著	發	行	先	任	務	恩	給	加	算	率	記	事
						地	名					給	勳					

備考

- 一 行先ノ欄ニハ加算率三月又ハ二月ノ場合ニハ布哇方面、南洋群島方面、比島方面、馬來方面、ボルネオ方面、太平洋(内戦部隊及補給部隊ニ屬スルモノノ戰務加算適用ニ關シテハ戰況及任務等ニ依リ定メラルルニ付其ノ概要ヲ記事欄ニ記載スルコト)方面、北支方面、中支方面、南支方面、香港、佛領印度支那、泰等ノ如ク主ナル作戰地方面ヲ、又加算率一月ノ場合ニハ所在地名ヲ記載スルコト
- 二 記事欄ニハ外戦部隊、内戦部隊又ハ補給部隊ノ別及之ニ所屬シ又ハ其ノ所屬ヲ解カレタル年月日ヲ記載スルコト
- 三 艦隊又ハ戦隊ノ旗艦タル艦船(司令驅逐艦、潜水艦、水雷艇、掃海艇、驅潜艇其ノ他司令部ノ所在スル艦船又ハ部隊ヲ含ム)ニ在リテハ備考トシテ旗艦、司令驅逐艦等タリシ期間ヲ附記スルコト
- 四 本調書ハ各艦船部隊(航空隊ヲ以テ編制セララル艦隊又ハ戦隊ノ司令部及外戦部隊又ハ内戦部隊ニ所屬スル特設ノ各艦若ハ之ニ準ズル機關亦同ジ)毎ニ作成ノコト

0070

別紙第一

				加算 終始 期期	海軍徴備船 (武装商船) 警戒隊員職務加算名簿	所 轄
				發着地名		
				行先		
				加算率		
				乗船名		
				官職階		
				氏名		
				入籍番號		

(昭和十七年九月十七日海軍公報(部内限))

0071

別紙第二

(昭和十七年九月十七日海軍公報(部内限))

勤務概要	行動経過	命令ノ日附、 要旨及下命者	職官氏名	勤務調書 所 轄

備考

- 一 行動経過ノ欄ニハ最終ニ内地ヲ出發シタル月日及地名、行先、最初ニ内地ニ歸着シタル月日及地名等行動経過ヲ記載スルコト
- 二 勤務概要ノ欄ニハ勤務ガ直接作戦ニ參加セルモノナルコトヲ明ニスベキ概況ヲ記載スルコト

0072

別紙第三

(備考) 勤務状況ハ具體的ニ詳記ノコト

勤務状況	勤務配置	着任年月日及昭和十七年四月一日以後ノ勤務期間	職官級俸氏名	勤務調書	所轄

(昭和十七年九月十七日海軍公報(部内限))

海人機密第一〇四號

昭和十七年九月十七日

海軍省人事局長

各廳長 殿

敝勳具申ニ關スル件通牒

本年官房第五六〇五號ニ依リ加算セラルベキ艦船部隊
ハ追テ恩給年敝勳年加算調書追録ヲ以テ發布セラルベ
キモ敝勳ニ關シテハ差當リ海人機密第一〇二號照會ニ
對シ送付ノ加算始終期調ニ依リ(他所轄ニ勤務セシ者
ニシテ加算ノ有無及加算期間ノ明カナラザルモノハ見
込ニ依リ)加算ヲ附シ具申相成度
追テ本年四月以降本加算ヲ附シ敝勳資格發生スル者
ハ當該月ニ遡リ具申セラレ度

○ 辭 令

商工技手 本宮 大介

海南警備府附ヲ命ス(依リ海軍省)

○ 雜 款

○書類發送先

當隊主計科關係書類ハ朝潮宛送付相成度
追テ荒潮ハ分離行動中ニ付同艦ニ關係アルモノハ寫
一通同艦宛送付ヲ得度
(第八驅逐隊)

海軍公報(部内限) 第四千百九十七號 昭和十七年九月十七日

九九九

海軍公報 (部内限) 第四千九百九十八號

昭和十七年九月十八日 (金)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第一〇八三號ノ二
昭和十七年官房機密第一〇八三號中左ノ通改正ス
昭和十七年九月十八日

海軍大臣

〔會計規則第四百四十六條第一項〕ノ次ニ「及物品會計規則第十五條第二項但書」ヲ加フ

(参照) 昭和十七年官房機密第一〇八三號ハ出納官吏又ハ出納員死亡其ノ他ノ事故ニ依リ自ラ計算書ヲ調製スルコト能ハザル場合之ヲ調製スベキ官吏指定ノ件ナリ

○ 通 牒

官房機密第一一七〇七號
燃料三號石油ノ臨時海軍規格ヲ左ノ通定ム
昭和十七年九月十六日

海軍次官

三號石油

本品ハ照明用トシテ適當ナル品質ヲ有シ水又ハ沈澱物等ヲ混ゼズ且左ノ各號ニ適合スルモノタルベシ

- 一 反 應 (試驗法第三號) 中性
- 二 引 火 點 (試驗法第五號甲) 攝氏八〇度以上
- 三 硫 黃 (試驗法第八號乙第二法) 〇・二%以下
- 四 凝 固 點 (試驗法第一〇號) 攝氏零下五度以下
- 五 分 溜 性 狀 (試驗法第一二號甲第二法) 九五%溜出溫度 攝氏三五〇度以下

軍需第二五七號ノ二

昭和十七年九月十八日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿
銃劍術要具木銃用毡包革、毡包ゴム等ニ
關スル件通牒
首題物品ハ在庫限り供給シ爾後毡包ノ一種トセラルル

海軍公報 (部内限) 第四千九百九十八號 昭和十七年九月十八日

海軍公報(部内限)第四百九十八號 昭和十七年九月十八日

一〇〇二

内意ニ有之候條該物品ヲ受入レタル場合ハ毡包ヲ装着シ得ル様木銃先端ノ鑽ヲ除キ適宜改造使用ノコトニ取計相成度

艦本機密第一號ノ一〇二二六

昭和十七年九月十四日

海軍艦政本部長
海軍航空本部長

關係海軍各工作長殿

火工兵器検査不良品修理ノ件通牒

火藥火工兵器貯藏検査規則ニ定ムル藥質検査ヲ要セザル火工兵器ニ關シ首題ノ件左記ノ通取計フベシ

記

- 一 検査不良品ハ之ヲ検査セル各工作應ニ於テ極力修理スルモノトス
- 二 製造元工作應ニ非ザレバ修理不能ノモノハ之ヲ取纏メ製造元工作應宛修理工事ヲ委託スルモノトス但シ製造元ガ陸軍關係工作應ナルモノハ中央ヲ經テ修理工事ヲ委託スルモノトス
- 三 製造元工作應ニ於テモ修理不能ノモノノ處理ニ付テハ其ノ品種及數量等ノ通知ヲ俟テ別途通牒ス

四 所要費用ハ在庫兵器修理費一般配付豫算内支辨トス

○ 辭 令

徵用中年額貳千六百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(ニハ海軍省)

貳千七百六拾圓

貳千貳百貳拾圓

(各通) 千五百六拾圓

千四百四拾圓

貳千七百六拾圓

貳千四百圓

徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(ニハ同)

參千貳拾圓

參千圓

貳千七百圓

貳千七百圓

山鹿 弘

山田 兼雄

徳久 寛

今東 壽雄

三浦 壽松

田中 嘉郎

山崎 鶴龜

西川 甚太

中井 吹藏

相良 三介

山本 晴次

富樫 文也

貳千四百圓	陸軍少尉 正八位	大橋 俊一
貳千貳百貳拾圓		村松 正
貳千貳百貳拾圓		谷口 雅雄
貳千百六拾圓		石渡 眞
貳千四拾圓		澤田 五郎
千九百貳拾圓		關 忠治
千九百貳拾圓		佐藤 茂美
千八百六拾圓		板倉 勝彦
千八百六拾圓		三好 道矢
千八百六拾圓		齊藤 勝男
千八百圓		梅本 昌夫
千八百圓		望月 孟夫
千七百四拾圓		荻原 信秀
千五百六拾圓		石川 浩康
千五百六拾圓		河野 耕一郎
千五百六拾圓		田村 了作
千四百四拾圓		大木 武治
千參百八拾圓		深川 數好
千參百八拾圓		佐藤 聖
千參百八拾圓		三浦 季松
千參百貳拾圓		高原 良一

千參百貳拾圓		中村 嘉藏
千貳百六拾圓		大津 正春
千貳百六拾圓		大久保 寛
千貳百圓		有馬 敬藏
千貳百圓		矢島 重義
千四百拾圓		赤坂 善雄
千四百拾圓		横井 重治

參千圓		山田 正榮
貳千五百貳拾圓		高橋 忠亮
貳千五百六拾圓		小河 吉之助
貳千五百六拾圓		佐川 實
千六百貳拾圓	陸軍少尉 正八位	三松 宗彦
千五百六拾圓		鈴木 甚吉

貳千八百八拾圓		大塚 延吉
貳千貳百八拾圓		小田 壽平

海軍公報(部内限) 第四千九百九十八號 昭和十七年九月十八日

(各通)

千八百圓 山口 清
千六百八拾圓 城見 多津一
千五百六拾圓 小川 正太郎
千五百圓 村上 一郎

徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限委任官待遇トス(三三三同)

(各通)

參千六百圓 石橋 英之助
貳千四百圓 織田 淑夫

徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限委任官待遇トス(九四四海軍省)

海軍規格審議會議員ヲ命ス 海軍少將 安場 保雄
海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(以上九四四同) 海軍少將 星野 應韶

○ 雜 款

○練習生採用試験問題發送

第十六期丙種飛行豫科練習生採用試験問題
右九月十二日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向
ハ至急通知相成度

一 單獨試験豫定各部ハ直送

一 聯合試験用ノモノハ各海軍人事部長各警備府副官宛送付

一 行動其ノ他ノ都合ニ依リ聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ各海軍人事部長宛若干部送付

一 行動其ノ他ノ都合ニ依リ所定期日ニ受領シ難キ向ハ左ノ各部ニ若干部送付ニ付最寄根據地隊司令部ヨリ受領相成度

第四根據地隊司令部
第十特別根據地隊司令部

第三十一 同
第二十三 同

(第十一聯合航空隊司令部)

第六期	館山海軍砲術學校普通科砲術練習生
第九十二期	橫須賀海軍砲術學校普通科砲術練習生
第二十四期	普通科測的砲術練習生
第八十四期	普通科水雷砲術練習生
第二十二期	普通科雷艇砲術練習生
第八十二期	普通科雷艇砲術練習生
第二十期	普通科雷艇砲術練習生
第七十八期	普通科雷艇砲術練習生
第十七期	普通科雷艇砲術練習生
第七十七期	普通科雷艇砲術練習生
第七十六期	普通科雷艇砲術練習生
第七十五期	普通科雷艇砲術練習生
第七十四期	普通科雷艇砲術練習生
第七十三期	普通科雷艇砲術練習生
第七十二期	普通科雷艇砲術練習生
第七十一期	普通科雷艇砲術練習生
第七十期	普通科雷艇砲術練習生
第六十九期	普通科雷艇砲術練習生
第六十八期	普通科雷艇砲術練習生
第六十七期	普通科雷艇砲術練習生
第六十六期	普通科雷艇砲術練習生
第六十五期	普通科雷艇砲術練習生
第六十四期	普通科雷艇砲術練習生
第六十三期	普通科雷艇砲術練習生
第六十二期	普通科雷艇砲術練習生
第六十一期	普通科雷艇砲術練習生
第六十期	普通科雷艇砲術練習生
第五十九期	普通科雷艇砲術練習生
第五十八期	普通科雷艇砲術練習生
第五十七期	普通科雷艇砲術練習生
第五十六期	普通科雷艇砲術練習生
第五十五期	普通科雷艇砲術練習生
第五十四期	普通科雷艇砲術練習生
第五十三期	普通科雷艇砲術練習生
第五十二期	普通科雷艇砲術練習生
第五十一期	普通科雷艇砲術練習生
第五十期	普通科雷艇砲術練習生
第四十九期	普通科雷艇砲術練習生
第四十八期	普通科雷艇砲術練習生
第四十七期	普通科雷艇砲術練習生
第四十六期	普通科雷艇砲術練習生
第四十五期	普通科雷艇砲術練習生
第四十四期	普通科雷艇砲術練習生
第四十三期	普通科雷艇砲術練習生
第四十二期	普通科雷艇砲術練習生
第四十一期	普通科雷艇砲術練習生
第四十期	普通科雷艇砲術練習生
第三十九期	普通科雷艇砲術練習生
第三十八期	普通科雷艇砲術練習生
第三十七期	普通科雷艇砲術練習生
第三十六期	普通科雷艇砲術練習生
第三十五期	普通科雷艇砲術練習生
第三十四期	普通科雷艇砲術練習生
第三十三期	普通科雷艇砲術練習生
第三十二期	普通科雷艇砲術練習生
第三十一期	普通科雷艇砲術練習生
第三十期	普通科雷艇砲術練習生
第二十九期	普通科雷艇砲術練習生
第二十八期	普通科雷艇砲術練習生
第二十七期	普通科雷艇砲術練習生
第二十六期	普通科雷艇砲術練習生
第二十五期	普通科雷艇砲術練習生
第二十四期	普通科雷艇砲術練習生
第二十三期	普通科雷艇砲術練習生
第二十二期	普通科雷艇砲術練習生
第二十一期	普通科雷艇砲術練習生
第二十期	普通科雷艇砲術練習生
第十九期	普通科雷艇砲術練習生
第十八期	普通科雷艇砲術練習生
第十七期	普通科雷艇砲術練習生
第十六期	普通科雷艇砲術練習生
第十五期	普通科雷艇砲術練習生
第十四期	普通科雷艇砲術練習生
第十三期	普通科雷艇砲術練習生
第十二期	普通科雷艇砲術練習生
第十一期	普通科雷艇砲術練習生
第十期	普通科雷艇砲術練習生
第九期	普通科雷艇砲術練習生
第八期	普通科雷艇砲術練習生
第七期	普通科雷艇砲術練習生
第六期	普通科雷艇砲術練習生
第五期	普通科雷艇砲術練習生
第四期	普通科雷艇砲術練習生
第三期	普通科雷艇砲術練習生
第二期	普通科雷艇砲術練習生
第一期	普通科雷艇砲術練習生

右九月十二日左記ノ通發送濟、未着及別ニ必要ノ向ハ採用試験問題

最寄海軍人事部、警備府又ハ館山海軍砲術學校へ至急通知相成度

記

- 一 單獨試驗施行豫定ノ所轄ニハ直送
- 二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部、各警備府宛送付但シ四等兵ノ分ハ各所屬海兵團ニ送付(聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含ム)

館山海軍砲術學校
 横須賀海軍砲術學校
 海軍水雷學校
 海軍機雷學校
 海軍航空學校
 海軍工機學校
 横須賀海軍航空隊

○事務開始

舞鶴地方海軍運輸部伏木出張所ヲ八月二十日伏木在勤海軍武官府内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

第五十一根據地隊司令部ヲ九月十五日横須賀鎮守府内ニ設置シ事務ヲ開始セリ (第五十一根據地隊司令部)

○正誤

九月二日海軍公報(部内限)號外判決中十九頁十三行目「犯罪行爲」ハ「收賄行爲」ノ、同十四行目「刑法

第十九條第一項第三號第二項「ハ」刑法第百九十七條ノ四」ノ、同十五行目「沒收スベク」ハ「沒收シ共ノ他ハ各差出人ニ還付」ノ孰モ誤

海軍公報(部内限)第四千百九十八號 昭和十七年九月十八日

海軍公報 (部内限) 第四千九百九十九號

昭和十七年九月十九日(土)
海軍大臣官房

○通牒

官房第五六四四號

昭和十七年九月十九日

海軍省 副官

各廳長 殿

大東亞戰爭作戦地ニ於ケル忠靈塔等ノ建設ニ關スル件申進

大東亞戰爭作戦地ニ於ケル忠靈塔等ノ塔碑ヲ建設シ以テ忠靈ヲ顯彰シ其ノ偉勳ヲ永ク後世ニ記念スルト共ニ大東亞永遠ノ平和ノ爲帝國外東亞各地ニ於ケル精神の中心タラシムル爲其ノ計畫及準備ヲ進メラルルコトト相成候處右建設ニ要スル經費ノ一部ハ官費ニ依リ、建設費ノ殘部及維持、祭祀ニ要スル經費ハ一般ノ寄附ニ依ルモノニ有之今般關係各省指導ノ下ニ財團法人大日本忠靈顯彰會ヲシテ本事業ニ對スル寄附行爲ノ統制ニ任ゼシムルコトト相成候就テハ海軍一般ニ於テモ本趣旨ニ賛意ヲ表シ其ノ事業ヲ援助スルコトニ致度

追テ御賛成ノ向ノ釀金ニ關シテハ左記ノ通定メラレ候

記

- 一 釀金ハ俸給月額三十分ノ一又ハ給料一日分ヲ標準トシ各廳ニ於テ適宜之ヲ取纏メ昭和十八年三月末日迄ニ海軍省經理局(振替貯金口座東京四七六〇二番)ニ拂込ムコト但シ官房機密第一〇五〇一號ノ三海軍次官申進ニ依リ既ニ釀出セラレタル者アル場合ニ於テハ其ノ旨金額ト共ニ通知シ再度釀出ニ及バズ拂込ノ際振替貯金拂込通知票ノ裏面通信文記載欄ニハ送金件名ノミヲ記入シ別ニ釀金氏名表ヲ別紙様式ニ依リ一通作製シ海軍省經理局員兒玉茂宛送付ノコト
- 二 昭和十二年九月二十七日官房第四九四九號(出征軍人軍屬及在支警察官並其ノ遺族等慰問金ノ件)ニ依リ釀出ヲ爲シタル者ハ第一號ノ標準額ヨリ本釀出一月分ノ額ヲ減スルモノトス

海軍公報 (部内限) 第四千九百九十九號

昭和十七年九月十九日

一〇〇七

0080

0079

Return to
Lt. Storer
— ~~copy~~

海軍公報

(部内限) 第四百百九十九號

昭和十七年九月十九日(土)

海軍大臣官房

追テ御賛成ノ向ノ釀金ニ關シテハ左記ノ通定メヲレ
候

記

一 釀金ハ俸給月額三十分ノ一又ハ給料一日分ヲ標準
トシ各廳ニ於テ適宜之ヲ取纏メ昭和十八年三月末日
迄ニ海軍省經理局(振替貯金口座東京四七六〇二番)
ニ拂込ムコト但シ官房機密第一〇五〇一號ノ三海軍
次官申進ニ依リ既ニ釀出セラレタル者アル場合ニ於
テハ其ノ旨金額ト共ニ通知シ再度釀出ニ及バズ
拂込ノ際振替貯金拂込通知票ノ裏面通信文記載欄ニ
ハ送金件名ノミヲ記入シ別ニ釀金氏名表ヲ別紙様式
ニ依リ一通作製シ海軍省經理局員兒玉茂宛送付ノ
コト

昭和十二年九月二十七日官房第四九九號(出征
軍人軍屬及在支警察官並其ノ遺族等慰問金ノ件)ニ
依ル釀出ヲ爲シアル者ハ第一號ノ標準額ヨリ本釀出
一月分ノ額ヲ減スルモノトス

九月十九日

一〇〇七

0080

0079

三 本隊金ハ之ヲ財團法人大日本忠靈顯彰會ニ寄附ス
別紙(様式)

忠靈塔建設資金寄附者名簿

應 名

金 額	官 (職)	氏 名

備考 一 用紙ハ美濃野紙トス

二 官(職)ハ必要ノモノノミ記入ノコト

○ 辭 令

水路部附氣象技師 守田 康太郎

第一南遣艦隊司令部附兼務ヲ命ス(九月海軍省)

氣象技師 井村 宇一郎

橫須賀鎮守府附ヲ命ス

同 北澤 貞雄

第一南遣艦隊司令部附ヲ命ス(以上九月同)

拓務技師 淺川 共二
海南警備府附ヲ免ス(九月同)

軍令部出仕海軍大尉 小笠原 博

特務班班員ヲ命ス(九月軍令部)

海軍大尉 小笠原 博

特務班班員ヲ命ス(九月大本營海軍部)

氣象調査事務囑託 佐野 英二

第一課勤務ヲ命ス(九月海軍氣象部)

○ 雜 款

○ 書類再送ノ件

八月二十五日以前ノ當隊宛書類並ニ送金等ハ全部事故ノ爲亡失ニ付再送方至急取計相成度
(橫須賀鎮守府第五特別陸戰隊)

○ 事務所設置

空〇廠(假稱)及空F廠(假稱)設立準備事務所ヲ九月七日海軍航空技術廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○ 事務開始

沼津海軍工廠(假稱)設立準備事務所ハ九月一日靜岡縣沼津市本字七通(橫須賀海軍工廠造兵部分工場内)ニ開設事務ヲ開始セリ

0081

海軍公報 (部内限) 第四千二百號

海軍大臣官房

昭和十七年九月二十一日(月)

○ 辭 令



古内 甚藏
第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス (三十三月海軍省)

小澤 恒二
第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス (三十九月同)

中村 廣司
臺灣總督府水産試験所技師
海南海軍特務部ニ於ケル業務ヲ囑託ス (三十五月同)

陸軍獸醫中尉 太田 實
第二南道艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス
(各通)

丸山 精雄
錦織 一清
第二南道艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待
遇トス (以上三十六月同)

古内 甚藏
第十一特別工作部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク (三十四月同)

(各通)

興亞院技師 青柳 晴一
臺灣總督府農業試験所 技師兼臺灣總督府技師 貴島 豊智
臺灣總督府技師 鳥居 武男
臺灣總督府農業試験所 技師兼臺灣總督府技師 徳永 芳雄

關目 成通
海南海軍特務部ニ於ケル業務ヲ囑託ス (十五月同)

岡市 正大
第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス (十四月同)

中村 榮造
支那方面艦隊事務囑託ヲ解ク
軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇
トス

參百圓 海軍技術研究所 宗宮 尙行
百五拾圓 研究業務囑託 堀場 信吉
百五拾圓 同 木村 正路

百圓	同	仁科 存	令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
貳百圓	同	雄山 平三郎	軍令部ニ於ケル調査事務囑託ヲ解キ南西方面艦隊司令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
百圓	同	實吉 純一	但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
百圓	同	堀川 初夫	
百圓	同	寺澤 一雄	
百圓	同	太田 友彌	第一南遣艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解キ南西方面艦隊司令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
百圓	同	友近 晋	
百圓	同	長尾 不二夫	
百五十拾圓	同	中山 若枝	第百二海軍建築部ニ配屬ス(以上ハ同)
百五十拾圓	同	原田 恭介	吳海軍建築部徵用員 安藤 猪久男
百五十拾圓	同	遠藤 彦造	徵用中年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
百五十拾圓	同	増本 武助	在墨館附武官室ニ於ケル事務囑託ヲ解ク 安藤 猪久男
百五十拾圓	同	藤本 武助	
百五十拾圓	同	牧 銳、夫	第二遣支艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(ハ同)
百五十拾圓	同	池田 芳郎	田部 通
百五十拾圓	同	渡邊 惠弘	小林 元
百五十拾圓	同	青山 新一	自今報酬年額(各頭書ノ通)ヲ贈與(給)ス(以上ハ同)
百五十拾圓	同	菅原 菅雄	柴田 善一
百五十拾圓	同	澤村 宏	淺居 ちか
百五十拾圓	同	西村 秀雄	庄野 唯衛
百五十拾圓	同	西原 利夫	

(各通)

但シ報酬年額貳千五百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

小林 良正

南西方面艦隊司令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

陸軍少尉 石川 信

南西方面艦隊司令部ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額參千參百六拾圓ヲ給ス

參千六百六拾圓 佐藤 信英

(各通) 參千四百圓 吉岡 恒夫

貳千五百拾圓 勝田 龍夫

南西方面艦隊司令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

佐々木 勳一

在米館附武官室事務囑託ヲ解キ軍司令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上九〇同)

(各通)

海軍豫備大尉 永山 甲
海軍豫備機關中尉 原 武

海軍省事務ヲ囑託ス

沼里 實

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

酒井 荒十
中村 勝美

海軍省事務ヲ囑託ス(九〇同)

(各通)

東京帝國大學校教授 榎原 鉞止
同 松本 良一

海軍艦政本部ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額六百圓ヲ贈與ス

興亞院技師 大内 恒

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ヲ解ク

從五位勳六等 石田 清太郎

水路部ニ於ケル潮汐調査事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

遞信技師 石井 淺八

(各通)

遞信局技師 櫻井 喜三郎
同 長田 太一郎

萩原 博

海軍艦政本部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

陸軍少尉 瀬戸 尙

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

上野 陽一

海軍功績調査部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

海軍豫備機關中尉 小笠原 武夫

海軍省事務ヲ囑託ス

樺太應技師 佐藤 哲平

海軍省事務ヲ囑託ス

中野 吉時

第四海軍建築部電氣業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上三項同)

海軍主計大尉 影山 衛司

第百一海軍燃料廠セラム支廠ニ要スル給與及其ノ他

ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(協支

出官 海軍省經理局長)

海軍主計兵曹長 木下 三郎

第十一特別工作部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂

ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(同前)

○ 雜 款

○郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

司令宛

軍醫長宛

隊機關長、主計長宛

追テ隊宛書類ニシテ各艦ニ關係アルモノハ各艦宛

寫送付相成度

春風 松風 朝風 (第五驅逐隊)

○事務所設置

空A廠(假稱)設立準備事務所ヲ九月七日神奈川縣横濱市磯子區海軍航空技術廠支廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

伊號第百七十七潜水艦裝具事務所ヲ九月十三日川崎重工業株式會社艦船工場内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

伊號第百七十七潜水艦裝具事務所ヲ九月十三日川崎重工業株式會社艦船工場内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(限 内 部)

0086

海軍公報 (部内限) 號外

○ 懲罰

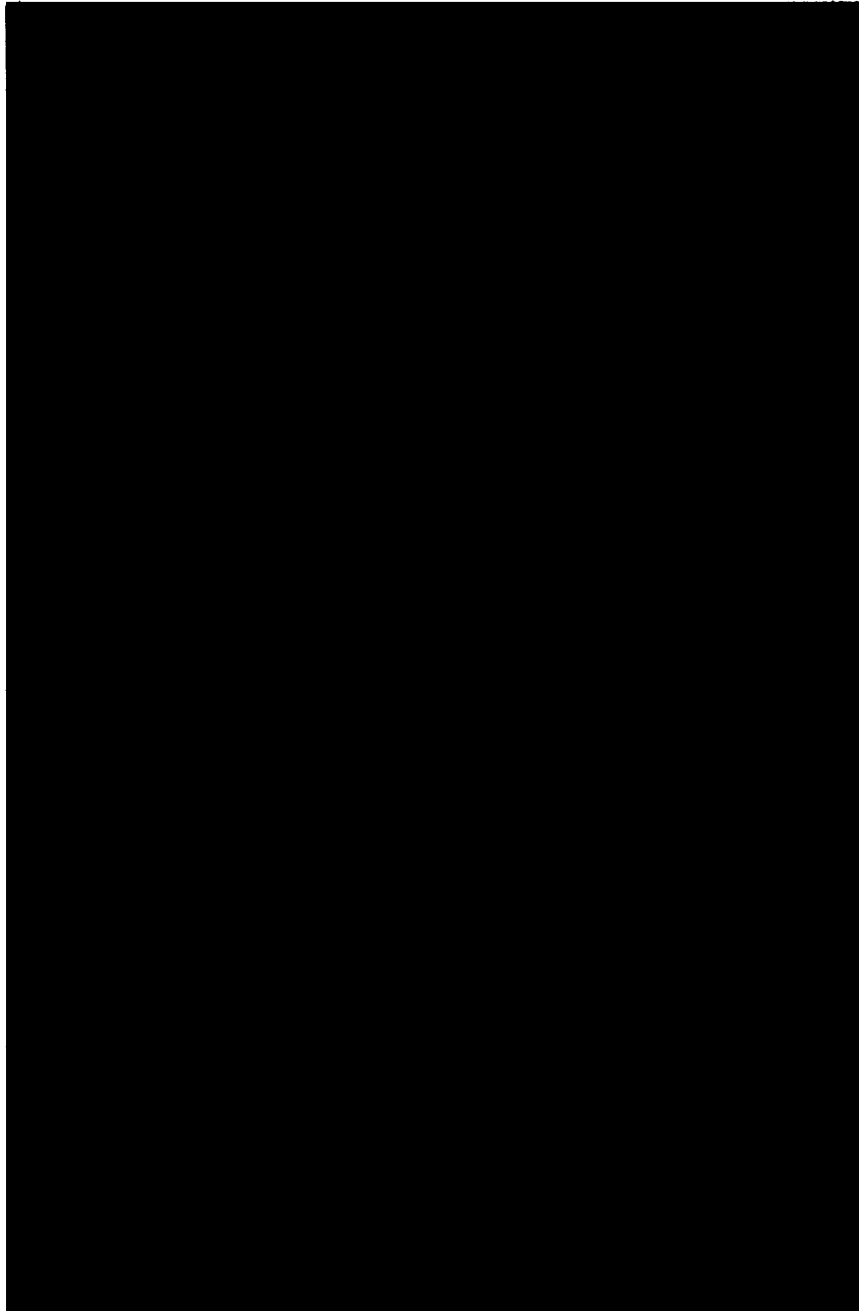
懲罰言渡書

昭和十七年九月二十一日(月)
海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 號外

0087

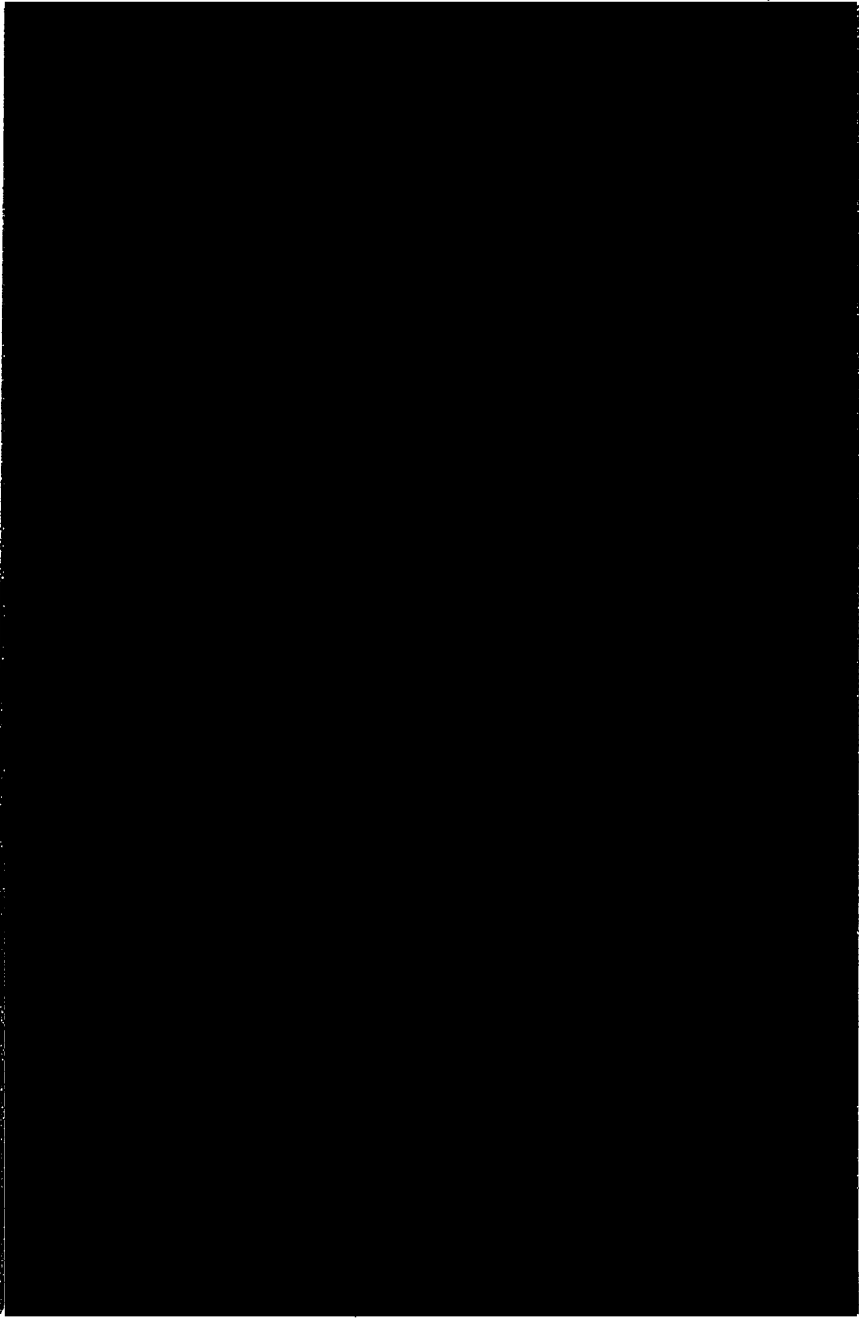
海軍公報
(部内限)
號外



二

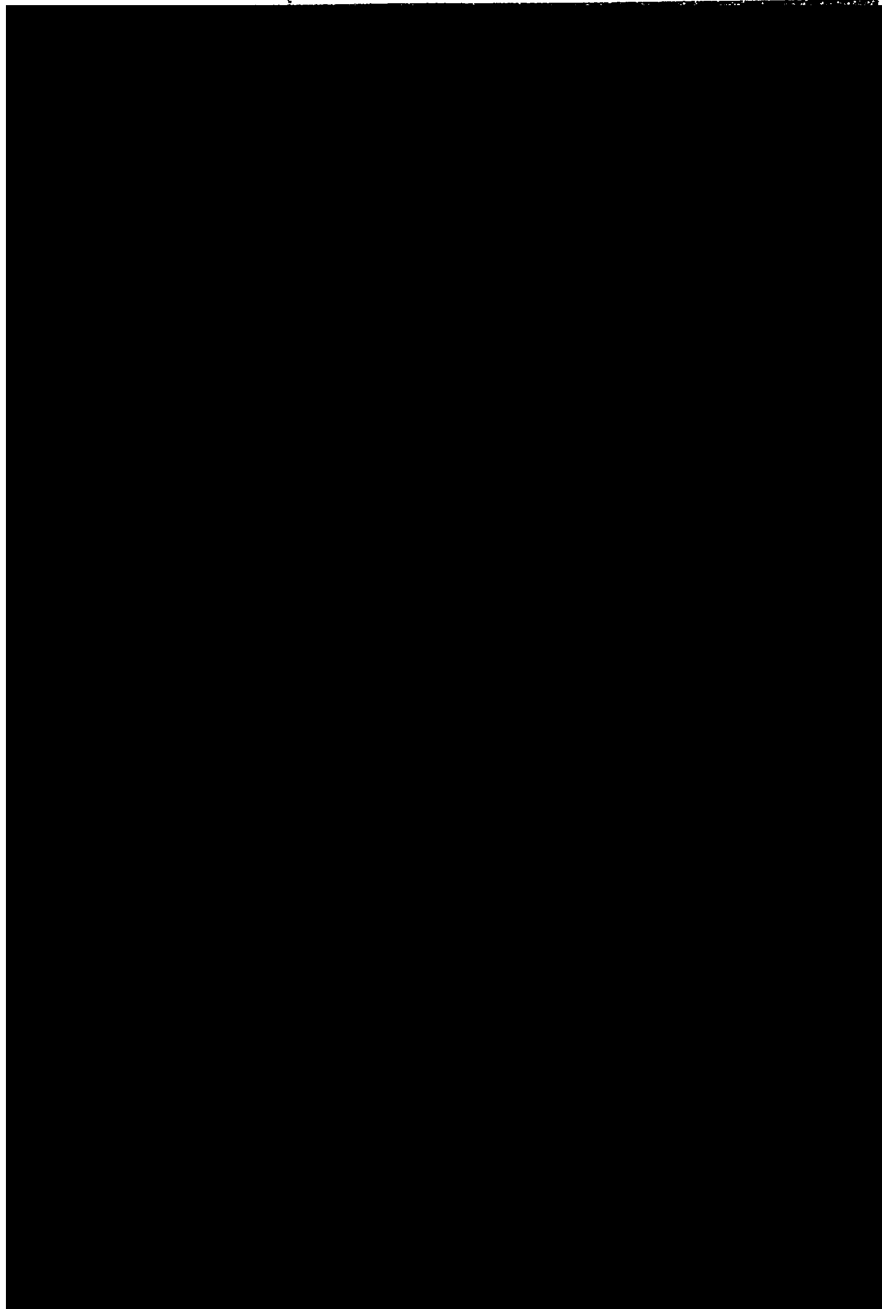
0088

海軍公報 (部内限) 號外



三

0089



海軍公報 (部内限) 號外

四

0090

海軍公報 (管内限) 號外

五

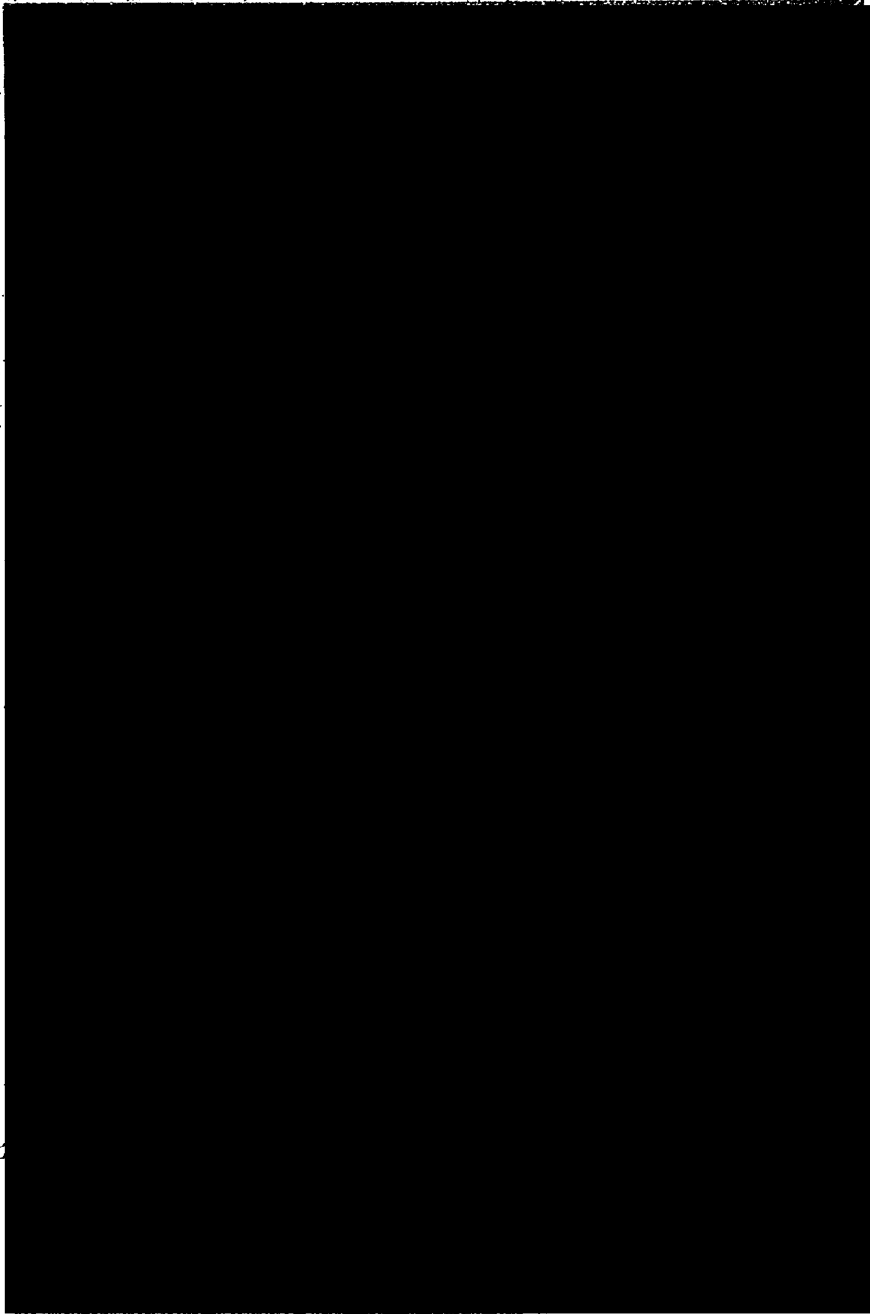
0091

海軍公報
(部内限)
號外

六

0092

海軍公報
(部内限)
機外



七

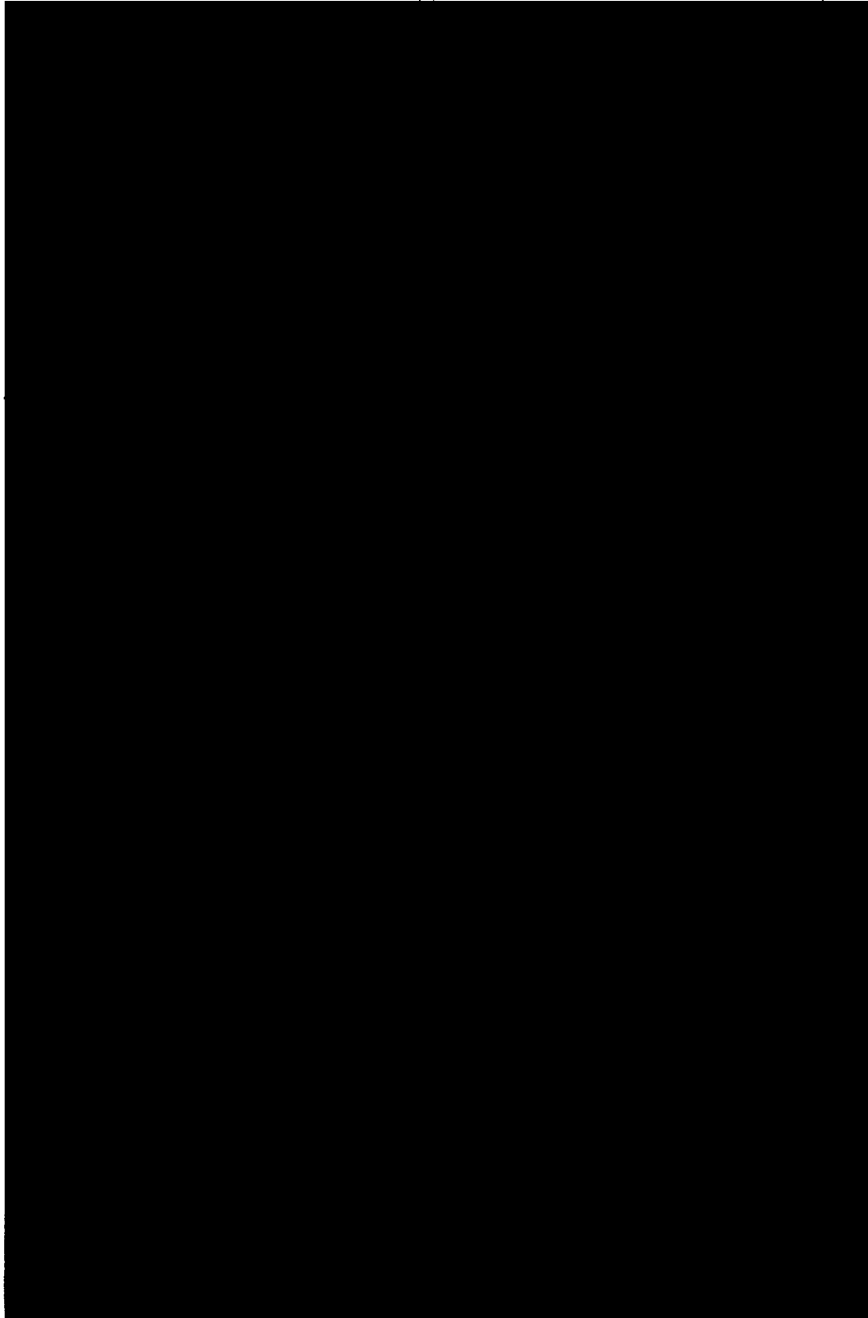
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

0093

海軍公報 (部内限) 號外



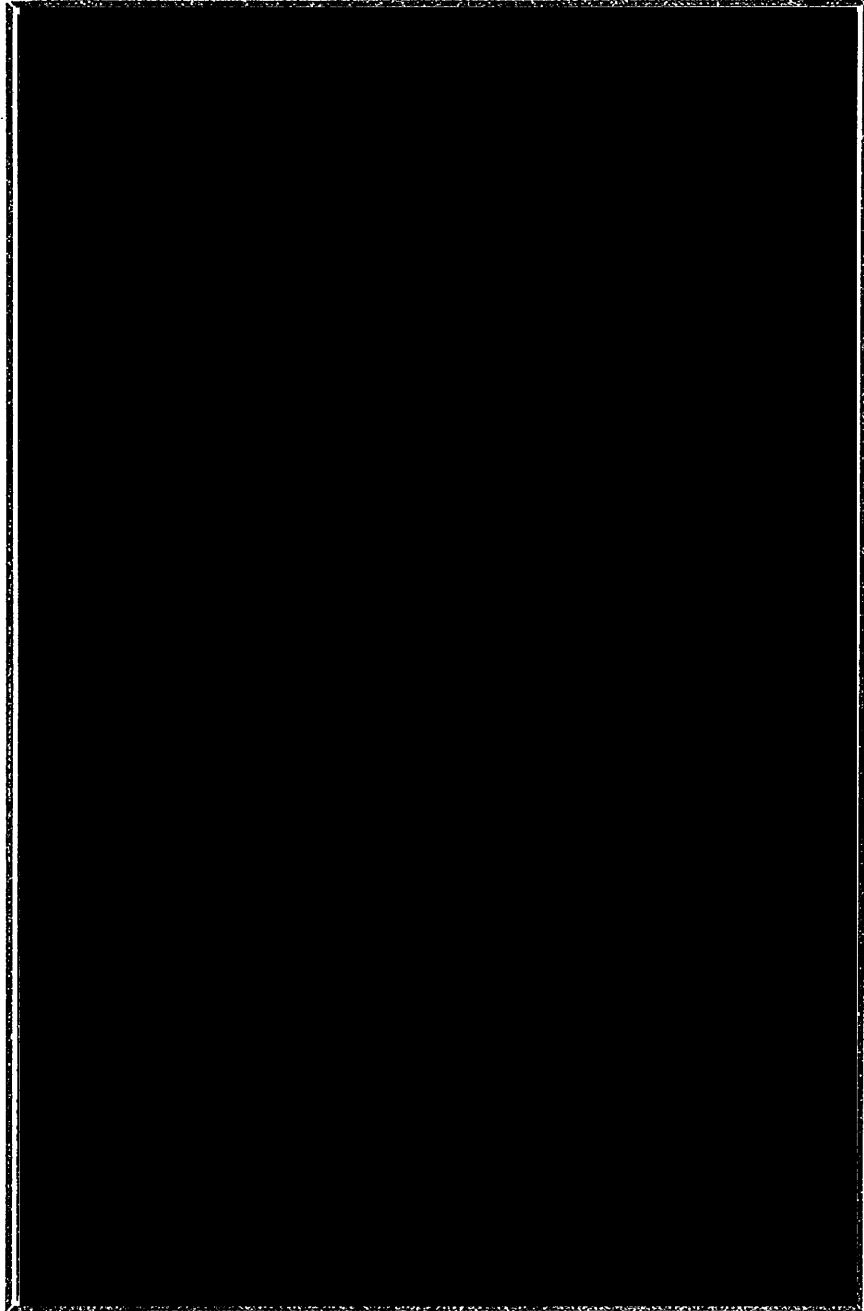
八

0094

海軍公報 (部内限) 號外

九

0095



海軍公報 (部内限) 號外

一〇

0096

海軍公報 (部内限) 號外



0097

海軍公報
(部内限)
號外

三三

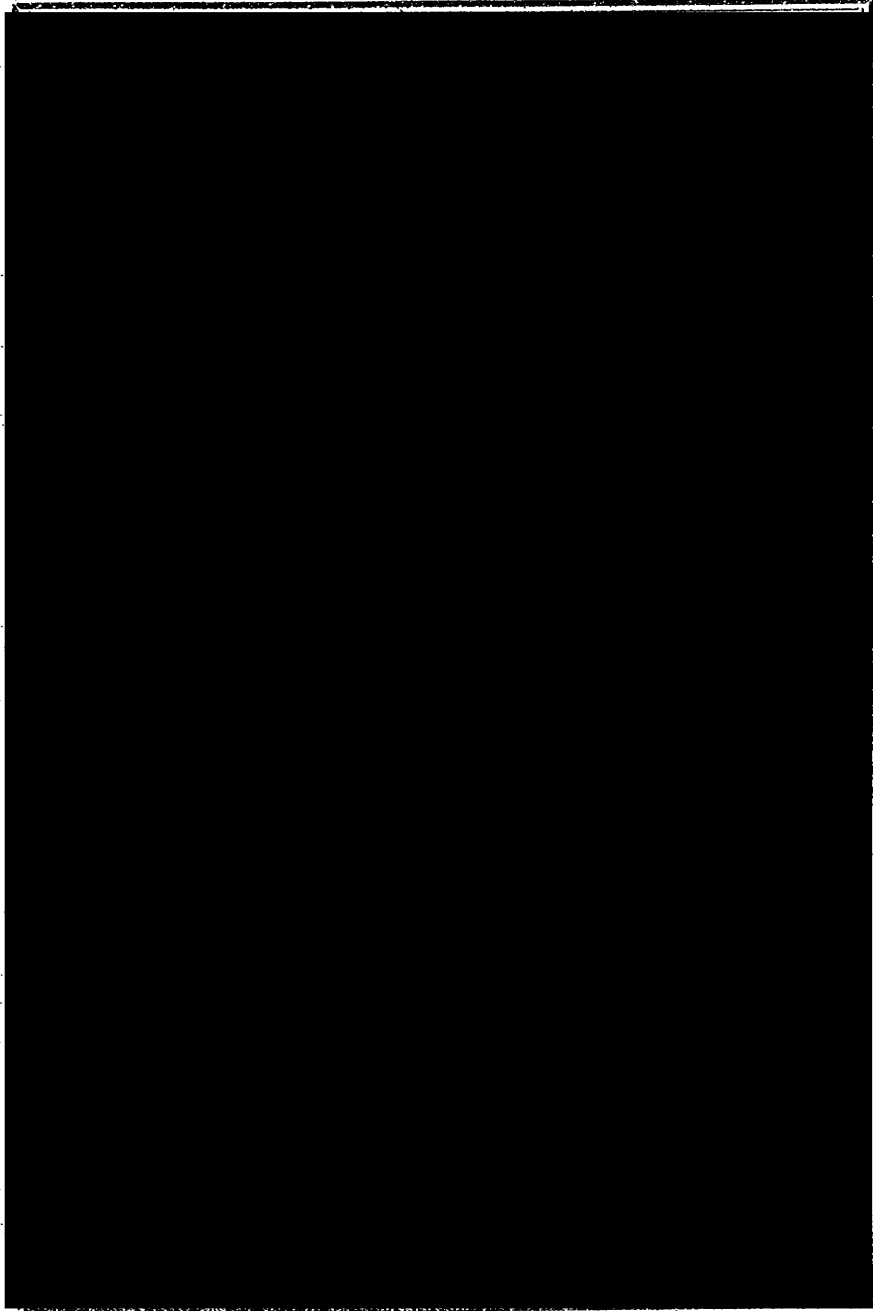
0098

海軍公報
(部内限)
號外

一三

0093

海軍公報 (部内限) 號外



一四

0100

海軍公報 (部内限) 號外

一五